

令和6年度 認定調査員現任研修 問題集（八王子市福祉部介護保険課）

■要介護認定の基本設計と選択の基準

① 【一次判定の修正・確定】

（ ）に当てはまる言葉を選んでください。

介助されていない状態や実際に行われている介助が、対象者にとっては不適切であるとの判断を一次判定で修正・確定するのは（ ）の役割である。

1. 認定調査員
2. 介護認定審査会
3. 介護認定審査会事務局

② 【有無・BPSD 関連】

（ ）に当てはまる言葉を選んでください。

BPSD 関連の基本調査項目では、（ ）が発生しているかどうかで選択する。

1. 行動
2. 日常生活上の支障
3. 介護の手間

③ 【要介護認定の基本設計】

各基本調査項目の定義にうまく当てはまらないものなど判断に迷う際の基本調査の選択としてもっとも適切なのはどれですか。

1. 各基本調査項目の定義等に基づき選択する
2. 介護の手間がよりかかる方、状態が悪い方で選択する
3. 迷った状況を特記事項に記載し、選択は空欄のままにしておく

④ 【要介護認定の基本設計】

認定調査票の特記事項は、どのような時に利用されますか。

1. 一次判定の修正・確定
2. 一次判定の修正・確定と二次判定
3. 二次判定

⑤ 【能力】

正しければ○、誤っていれば×を選択してください。

能力で評価する基本調査項目は、日常生活上の支障があるかどうかで選択する。

1. ○
2. ×

■第1群：身体機能・起居動作

① 【1－1 麻痺等の有無】

右下肢が欠損していて確認動作が行えない場合、基本調査ではどれを選択しますか。

1. 「右下肢」を選択する
2. 「右下肢」「その他」を選択する
3. 「その他」を選択する

② 【1－4 起き上がり】

福祉用具（補装具や介護用具等）や器具類を使用している場合の評価について、誤っているものはどれですか。

1. 補装具を使用している場合は、使用している状態で評価する
2. ギャッチアップ機能がある電動ベッドの場合は、この機能を使って評価する
3. 常時ギャッチアップの状態にある場合は、その状態から評価する

③ 【1－6 両足での立位保持】

基本調査項目で、どの選択肢を選択すればよいですか。

調査時には、平らな床の上で立位を10秒間程度何にもつかまらないで保持できたが、家族の話では、日頃はできないことが多い。

1. つかまらないでできる
2. 何かにつかまればできる
3. できない

④ 【1－7 歩行】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

両足を切断しており、立位がとれないが、屋内移動は両手で行うことができる。

1. つかまらないでできる
2. 何かにつかまればできる
3. できない

⑤ 【1－10 洗身】

下記の場合、基本調査でどの選択をすればよいですか。

自分で洗身を行っているが、介護者による見守りが行われている。（ただし、不適切な状況にはないものとします。）

1. 介助されていない
2. 一部介助
3. 全介助

■第2群：生活機能

① 【2－2 移動について】

「移動」について、正しいのはどれですか。

1. 常時の付き添いの必要がある見守りが行われているため「一部介助」を選択する
2. 車いすへの移乗に一部介助が行われているので移動も「一部介助」を選択する
3. 外出行為について、移動の基本調査項目の選択では評価しないが、介助が行われているため特記事項に記載する

② 【2－3 えん下】

「見守り等」の選択基準として、正しいものはどれですか。

1. 実際に見守りが行われていることを必須とする
2. いつも「声かけ」を行っているので「見守り等」を選択した
3. 「できる」、「できない」いずれにも含まれないと考えられたので、「見守り等」を選択した

③ 【2－5 排尿】

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

トイレへの移動、トイレ内での行為には、見守りも介助も行われていないものの、認知症のためトイレに行くタイミングを自分で把握できないことがあるため、定時の声かけを行っている。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)

1. 介助されていない
2. 見守り等
3. 一部介助

④ 【2－7 口腔清潔】

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

介護者が磨き残しの確認のみ行っている。(ただし、不適切な状況にはないものとする。)

1. 介助されていない
2. 一部介助
3. 全介助

⑤ 【2－12 外出頻度】

外出頻度の基本調査項目の選択で、選択できるものはどれですか。

1. 近所への10分程度の散歩
2. 家族との30分以上の買い物
3. 徘徊による外出

■第4群：精神・行動障害

① 【4－6 大声を出す】

「大声を出す」の特記事項の記載について、最も重要なものはどれですか。

1. 大声で言っていることの具体的な内容を記載する
2. 日常生活上の支障を記載する
3. 介護の手間と頻度を記載する

② 【4－12 ひどい物忘れ】

「ひどい物忘れ」の基本調査の選択基準について、誤っているのはどれですか。

1. 電話の伝言をし忘れるといったような、単なる物忘れも含まれる
2. 「ひどい物忘れ」によって周囲の者が何らかの対応をとらなければならない状況（火の不始末等）が含まれる
3. 認知症があるが、寝たきりで意思疎通もできないので「ない」を選択した

■第5群：社会生活への適応

① 【5－2 金銭の管理】

手元に現金等を所持していない場合の考え方について、正しいものはどれですか。
（ただし、不適切な状況にないものとします。）

1. 年金、預貯金、各種給付等の管理の状況で選択する
2. 定義で規定される行為を想定して、適切な介助の方法を選択する
3. 管理する金銭がないため、「介助されていない」を選択する

② 【5－3 日常の意思決定】

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいか。

日常生活状況のもと、意思決定がほとんどできないが、見たいテレビ番組やその日の献立に関する意思決定をすることがある。

1. 特別な場合を除いてできる
2. 日常的に困難

③ 【5－6 簡単な調理】

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

「炊飯」・「弁当、レトルト食品、冷凍食品の加熱」・「即席めんの調理」のうち、週に4回の「炊飯」をヘルパーが行い、週に2回の「弁当の温め」を対象者が一人で行っている。（ただし、不適切な状況にはないものとします。）

1. 介助されていない
2. 一部介助
3. 全介助

■過去 14 日間にうけた特別な医療について

① 【有無（過去 14 日間にうけた特別な医療）】

特別な医療について、正しいものはどれですか。

1. 継続して実施されているもののみを対象としている
2. 医師の指示が過去 14 日以内に行われているものに限定される
3. 調査対象者や家族、介護者から情報を得る以外にも医療機関などから情報を聞くことも必要である

② 【過去 14 日間にうけた特別な医療（モニター測定）】（ ）に当てはまる言葉を選んでください。

血圧、心拍、心電図、呼吸数、酸素飽和度の（ ）について、24 時間にわたってモニターを体につけた状態で継続的に測定されているかを評価する。

1. いずれか一項目以上
2. いずれか二項目以上
3. すべての項目

③ 【過去 14 日間にうけた特別な医療（レスピレーター（人工呼吸器））】

「レスピレーター（人工呼吸器）の有無」の評価について、正しいものはどれですか。

1. 急性期対応の一時的なものも該当する
2. 医師の指示が過去 14 日以内に行われた行為のみが該当する
3. 経口・経鼻・気管切開の有無や、機種は問わない

令和 6 年度 認定調査員現任研修

～対象者の姿が伝わる特記とは？～

(令和 6 年度の認定調査票から学ぶ)

個人ワーク

下記の特記例を読んだ時に、対象者の姿（人物像）が『伝わる』か『伝わらない』か考えてみましょう。
『伝わらない』または特記と選択の整合性がとれていないと判断される場合、認定調査員として他にどのような聞き取りや確認が必要でしょうか？

確認が必要だと思われる情報を下の枠に書き出してみましょう。

その際、各項目の「評価軸」も一緒に考えて、当てはまる番号を（ ）内に記入してみましょう。

「評価軸」の選択 ① 能力 ② 介助の方法 ③ 有無

問 1. 【1-10 洗身】

自宅で入浴している。家族に見守ってもらい自力で洗身している。『一部介助』

(評価軸：)

問 2. 【1-7 歩行】

家具を伝い歩行する。外出時は介護者と腕を組んで移動する。『何かにつかまればできる』

(評価軸：)

問 3. 【2-10 上衣の着脱】

娘が着やすいように衣類を構えれば協力動作はできる。※独居 『一部介助』

(評価軸：)

問4.【2-11 ズボン等の着脱】

車椅子に座った状態で介護者がズボンの着脱を行う。※(1-1)ない 『全介助』

(評価軸：)

問5.【2-3 嚥下】

むせ込みはないが妻が見守っている。 『見守り等』

(評価軸：)

問6.【2-5 排尿】

リハパン、パット使用。尿意曖昧で介護者が定時でトイレ介助している。 『全介助』

(評価軸：)

問7.【2-12 外出頻度】

通院以外は外出しない。友人と一緒に買い物に行く事がある。 『月1回以上』

(評価軸：)

問8【3-1 意思の伝達】

限られた内容は伝えられる。それ以外は伝達できない。 『ほとんど伝達できない』

※(4-1)(4-5)は「ある」を選択

(評価軸：)

問 9 【5-2 金銭管理】

夫と預貯金の引き出しを行う。自分の所持金は管理している。 『一部介助』

(評価軸：)

問 10 【5-5 買い物】

夫と買い物に行く。主に家事を夫が行い、食材や日用品を選ぶ為、全介助とした。

(評価軸：)

問 11 【5-1 薬の内服】

自己管理しているが飲み忘れが出ている。 『介助されていない』

(評価軸：)

問 12 【4-7 介護に抵抗】

気に食わない事があると物を投げつけようとする事が週 1 回以上あり、その都度家族は
なだめており介護の手間になっている。 『ある』を選択。

(評価軸：)

お疲れ様でした。

八王子介護支援専門員連絡協議会
認定調査担当理事 石坂 原田